

式辞

湯崎広島県知事、林広島県議会議長をはじめ、ご来賓の皆様方ご多忙のなか、本学の入学式にご光来賜り衷心より御礼申し上げます。

ありがとうございます。

ご入学の学生のご家族の皆様・ご関係の皆様、おめでとうございます。

県立広島大学および大学院にご入学の学生の方々お祝い申し上げます。

この広島県で皆様が学生生活をお送りになるのは、稀有な幸せだと私は確言致します。私は、広島市内・県内多くへ参りましたが、その時、いつも心に浮かびましたのは、萩原朔太郎の「旅上」という詩でした。

ふらんすへ行きたしと思へども
ふらんすはあまりに遠し
せめては新しき背広をきて
きままなる旅にいでてみん
汽車が山道をゆくとき
みづいろの窓によりかかりて
われひとりうれしきことをおもはむ
五月の朝のしのめ
うら若草のもえいづるころまかせに

広島市はパリに似ています。ひろしま美術館には、印象派を中心に、世界的名画が300点以上あり、パリの香りがします。美術館を出ると、文化勲章に輝く広島県御調の圓鍔勝三の心浮き立つ彫像の数々に出会います。「魚に乗った少女の彫刻」(旧市民球場北)、「足を上げて踊る少年少女」(平和資料館南の郵便ポストの上)、「鈴木三重吉と腰掛けた少年少女」(相生橋東畔)等々、ミレスのように、楽しい彫像です。その上、117万人の大都市をゆったりと流れる川には、セーヌのように遊覧船が浮かび、相生橋は、シテ島にかかる橋「ポンヌフ」を思わせます。もちろん、このあたりは、世界の誰もが、なによりもまず平和に思いをいたすところです。元安橋の西のイギリス・ドイツ・オランダから贈られたバラ園には「広島平和公園」、「クイーン・エリザベス」、「アンネ・フランク」等々の名のバラがあり、ネール首相からのヒマラヤ杉など、世界の人々の熱い「願い」が胸に迫ります。広島は東京にならぶ日本のかけがえのない国際都市なのです。

あとは省略しますが、他にもパリの風を感じるところは多く、広島を歩くとパリに行きたくなります。そうすれば、ちょっとおしゃれして、列車にお乗りください。そして、庄原に向いますと。朔太郎の詩そのままの、きらきらと風光る美しい自然に出会うことでしょう。

司馬遼太郎氏に似た点もある、しかし異なる世界を、同氏と別の視点

で文学的に濃密に描くという感じのする宮城谷昌光氏は『風は山河より』で、三河・尾張という土地に宿る力が信長・秀吉・家康という稀代の英傑を生んだといいますが、安芸と備後つまり広島県は三河・尾張に勝るとも劣らない素晴らしい力をもっています。詳しい説明は、卒業式の式辞でのべ、HPに掲載していますので、ここでは省きますが、広島に宿る力は、なんと広島を一時期日本の首都にまでしています。天皇は1894年9月から約7カ月広島にお住まいになり、大本営もあり、帝国議会も広島で開かれたのですから（県庁東館南隣のコンビニエンスストア北西角に説明板有り）、この間は、広島は事実上首都だったのです。

また、日本を豊かにしたのは、竹原市吉名の生まれで現在の忠海高校出身の池田勇人首相です。氏は所得倍増計画により、6年で月給を本当に倍にしたのです。日本人の心、美意識の形成に大きな役割を果たしたのは、布野生まれで、現三次高校を卒業し、明治末から大正に和歌を短歌へと1000年に一度の大改革をしたアララギ派の重鎮中村憲吉でした。ですから、日本を豊かにしたのも、日本人の心を方向づけたのも広島県人だったのです。詳しくは、本学HPを御覧ください。

広島の山河に宿る力はもっとすごいのです。歌舞伎や浄瑠璃は大衆の心、美意識や倫理感に大きな影響を与えましたが、その三大狂言「仮名手本忠臣蔵」「義経千本桜」「菅原伝授手習鑑」の中心的作者は三原市の成就寺のお坊さんだった並木宗輔です。昨年12月から本年1月末まで早稲田大学演劇博物館で開催の「並木宗輔展」の趣旨説明には「並木宗輔は、近松門左衛門以降の人形浄瑠璃を支えた代表的な作者です」とあります。そして、同展覧会の協力団体の筆頭は三原市立図書館で、後は東大附属図書館、東大国語研究室、早稲田大学図書館となっています。これほどの人を、三原は出したのです。庄原も大変凄い人を生み出しました。倉田百三氏は、驚いたことに、フランスのノーベル文学賞作家ロマンロランに激賞された「出家とその弟子」を書き、岩波茂雄が印税をわざわざ広島まで届けにくるほどの大ベストセラーになりました。

さて、広島県のもう一人の大偉人は、福山藩主、阿部正弘公です。正弘公は1853年ペリー提督が浦賀沖に現れる8年前に江戸幕府の老中首座になり、条約締結の交渉を指揮しました。通常、この交渉は、無能な幕府が、強大なアメリカの軍事力に屈して、極端な不平等条約を結んだとされています。

しかし、ペリーとの交渉につき、横浜市立大学の学長をなさった歴史学者加藤祐三同大学名誉教授は、資料を検討し、幕府は、情報の収集・分析・適用と外交能力に優れ、恫喝に負けず論理で交渉し、条約に多くの対等性を持たせたと、通説を否定し、一般の人向けに、ちくま新書『幕末外交と開国』を2004年1月、今から6年前に上梓しておられます。

それによりますと、幕府は、オランダと清国から、アヘン戦争後は、「別段風説書」として詳細な報告書を提出させていました。しかし、情

報には相違もあり、判断に必要な情報が十分なわけではありません。しかし、不十分な情報から正しいものを析出する西洋の命題論理学に似た方法は、新井白石によって100年も前に確立しており、幕府は、情報を分析し、1年以上前にアメリカの艦隊が長崎か品川沖に来ると判断し、オランダ語通訳を浦賀にも配置して備えていました。また、アメリカ側には補給線がないから、交戦の意図なしとする大槻平次仙台藩士の上申も得ていました。当時、太平洋航路は未開拓で、ペリーは、はるばる喜望峰をまわり、7カ月かけて浦賀にきているのです。日本と戦争になれば、国際法上同盟国以外は中立の立場をとりますから、イギリス、オランダ、スペインのようにアジアに植民地のないアメリカは水も食料も補給できず、戦争は事実上不可能でした。ペリーは、「日本は外国人の命を尊重しない国だ」と、開戦の名分を掲げ、虚実こもごも「我々は蒸気船で太平洋を渡り18日で来ることができる。わが方は、スペインと戦争し首都まで攻めとった。事と次第によっては貴国もそうなる」と恫喝しましたが、交渉役の林復斎は動ぜず「戦争もありうるかもしれぬ」と毅然と応じ。そして「しかしながら、貴殿は間違っている」と、遭難外国人の命を日本が救ってきたと反論し、ペリーの主張を撤回させています。また、幕府は、勘違いや挑発から、戦端が開かないよう注意しており、最初にペリーの旗艦に行った通詞は、オランダ語では意味が伝わらず不測の事態を招きかねないと、第一声は「I can speak Dutch!」と英語で叫びました。それで、ペリーはオランダ語通訳を出してきたといえます。細かな点にいたるまで行き届いていました。その結果、日本は寸土たりとも植民地化されずに独立国家として明治以降の発展につないでいくことができました。もし、幕府無能という従来の説に与するのであれば、米英の議会資料をはじめ膨大な資料を検討した加藤教授以上の信頼できる資料を用意しなければなりません。

それが学問です。通説も、権威者の説も、新しい資料の発掘、検討で時には否定され、新しい知に変えられるのです。大学は、人類にとって新しい知を生み出すとともに、従来知が、新しい資料と研究により、否定され、新しい知に置き換えられていくところなのです。そういう大学で皆様は学ぶことになるのです。

このように、広島土地に宿る力は、近代から現代の日本に対して、政治、経済、文化において特筆すべき大きな貢献したのです。

さて、その広島にある本学は、大学の研究力を示す良い指標とされる科学研究費補助金の採択件数も金額も中四国九州の全部で22の公立大学の中で第1位です。また、科研費獲得教員の割合は、本学は29%で、誰もが一流大学という一橋大学と同じ割合です。また、地域貢献は、新聞の全国調査によれば、約700の大学中で14位です。同紙には、ベスト20までの大学名が示されていますが、それには、東大・京大等旧帝国大学も、一橋・神戸など三商大も、入ってはおりません。

さらに、文部科学省は優れた教育的取り組みをグッドプラクティスG Pとして選定し予算をつけますが、本学は4学部すべてで計5件採択されています。また、手間がかかるため、近年、卒業論文は選択制の大学が多いのですが、本学は全学部全学生に卒論は必須になっています。卒業論文では、課題設定、文献の渉猟検討、仮説の論証か実証、結論導出、吟味、展望をし、文章にまとめ、報告しますから、創造性、調査力、分析力、文章力、プレゼンテーション力がつき、本来の大学らしい教育ができます。

大学の役割は、教育、研究、地域貢献とされています。それならば、総合的にみて、本学は全国でトップクラスの大学と言えらると思ひます。

皆様は、そのような大学にご入学なさり、自然も文化も燦々と輝く広島で学生生活をお送りになるのです。

自信をもって、勉学に励み、広島、日本、そして世界の、未曾有の危機の解決に取り組んでいただきたいと思ひます。美しいこの広島の土地に宿る力は、皆様の活躍に期待し、支援を惜しまないと思ひます。

皆様の活躍が頼りなのです。よろしくお願ひします。

平成 22 年 4 月 5 日

県立広島大学
学長 赤 岡 功